

令和 5年 6月期 (第88回) 番組審議会 議事録 (抄)

- 1 開催日時 令和 5年 6月 28日 (水) 午後 7時 ~ 7時 44分まで
- 2 開催場所 京都府京丹後市峰山町丹波 825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内
- 3 委員の出席 委員総数 7名
出席委員数 5名
中村基彦、安田秀俊、川村康好、中江学、岡村さおり、今田弘一
放送事業側 後藤淳司 (局長代理)
出席者

4 開会

事務局から令和5年度第1回目の番組審議会の開催宣言の後、出欠確認と、既に委嘱状の交付を行った旨の説明がなされた。続いて、議長選出として中村氏にお願いをし、反対なく了承された。続いて、令和5年度の会長立候補者を募ったがなく、事務局から引き続き中村基彦氏にお願いをし、反対なく承認された。次に副会長の立候補を募ったがなく、委員から引き続き安田氏を推す声が上がリ、反対なく承認された。

次に、議長から議事録署名人に、岡村氏と今田氏に依頼し了承が得られた。

続いて、番組審議に入る。

5 番組審議

「ヤングロの日々是天然色」

6月27日(火) 13時30分~30分番組

本放送: 第1・第3火曜日更新

再放送: 更新週の日曜日 8時~ (更新週の翌週も再放送)

番組視聴、その後番組説明、審議に入る。

30分番組の前半が、丹後町宇川の暮らし、後半が音楽をお届けする番組です。

番組パーソナリティのヤングロさんは、以前 CSR-3rd という番組内でアシスタント的な立場ではありましたがパーソナリティとして関わっていただいていた。大阪から宇川へ家族で移住をしてこられまして、農業をされながらミュージシャンとして二足のわらじで活動をされています。この6月に2局の中継局が開設するにあたり、丹後町や久美浜町の方にご出演いただいたり、番組をしていただいたりできないものかと、色々と当たっていたところ、その中でヤングロさんが、一人でできるかなという感じではありましたが、なるべく一人でできる形で続けていただきたい思いで、今回は変則的な収録方法ではありますが、宇川のそのままの暮らしをそのままスマートフォンで収録をしていただいています。よく耳を澄まして聴いていただくと鳥が鳴いていたり、玄関を開けたり締めたりする音が入っていたりとか、本当にヤングロさんの生活の音そのまま入っているという、所謂、宇川の自然そのままをパッケージしていただくという意図で、あえてスタジオ収録ではなくヤングロさんのお家のまわりでの収録って言うことをしていただいています。音楽はヤングロさんの好みの音楽をかけています。もちろん自分の曲をかけられることもあります。今回聞いていただいたのは、第2回目の放送分です。隔週更新です。

(委員) 放送時間帯は。

(局側) 本放送が火曜日の13時30分からです。再放送は日曜日の8時からとなっています。なので朝の早い時間も意識しつつの制作になります。少しゆっくりめにしゃべっていただいているのかなという感じはあります。

(委員) こういうしゃべり方なんですか。

(局側) もともとゆっくり話されます。
(委員) 朝の再放送ということですが、活力がでる感じではないですね。
(委員) ずっと同じでメリハリがないですね。
(委員) 眠る前に聴いたほうがよい感じもしますね。
(委員) 声のトーンも心地よい感じです
(委員) 大阪出身の方？
(局側) そうですね、長くは大阪にお住みになってると思います。
(委員) 大阪弁も取り入れたほうが面白みがある。
(委員) 声がゆっくりで割と静かにお話しされるから逆にBGMがちょっと大きいので
(委員) 声が聴こえにくい
(委員) なので余計に心地よくなってしまう
(委員) 音楽は入ってましたよね？
(局側) はい、ちゃんとBGMは入れてます。
(委員) 伝える内容が大阪から宇川に移住してきて農業？
(局側) そうですね、古民家をご購入になってそこにお住まいになっている
お風呂を炊くと考えても、薪で炊かないといけない。そういう生活をされている
逆にそれをお話し出来る。
(委員) 私たちは薪で炊くのが普通の生活だったから気分的には・・・
(局側) 今は火を使って風呂を炊くって発想があまりないので新鮮かなというところです。
(委員) 農業中心に宇川での日々の暮らしをお伝えしましょうということと
移住者へのアドバイスとか
(局側) やっぱり憧れで来て挫折するっていうのが、現実がわからない、厳しいよって。
火が付かないとかをお話する。
移住者の方が多いと思います、悠々自適を思い描いて来られる方
いざやってみると大変という現実をわかって欲しいというところもあるみたいです。
(委員) もうちょっと面白おかしく出来ないか？
(局側) それは今後の課題とします
(委員) もう少しはりを持った声で
(委員) トーン的にはイヤな感じはしなかったんですけど、ただ、何言ってるか聴こえにくいところ
がちょっとあって
(委員) 朝の8時はちょっと
(委員) 放送の時間帯に応じた喋りをすべきだと思います
(委員) この喋り方パーソナリティーの個性と言われたらそうかもしれないが、
聴く方にしてみたら仕事はじめてさあこれからって時にこの調子で話されたら
(局側) たぶん自分の本当のリズムよりもちょっと遅めには喋ってると思います。
地元のおじいちゃんおばあちゃんとかに宛てているのかなって言うのもあります。
リスナーにではなく自分の周辺に向かい合って喋っている。
この点は改良の余地あります。
(委員) 説明を聞くとスローなトーンの人というのは分かったがそれを知らない人は退屈。
(委員) 途中から聴いた人が聞き続けてくれるか。
(委員) 最初につかみが欲しい。
(委員) テーマとかちょっと聴いてみようとなるような。
(委員) 番組が始まるとタイトルコールの時の元気なイメージが無い。
(委員) 最初にこういう話をしますよというのが無いと何が言いたいかわからなかった。
(委員) 大阪から宇川への移住者だがなぜ宇川を選んだのだろう。
(局側) 空気が合ったんじゃないんでしょうかね。
(委員) 何年ぐらいになる？
(委員) 7～8年らしいです。
(委員) 何言ってるか分からないと変えちゃうので勿体ない。もう少し聞き取りやすいとありがたい
(委員) メリハリがあると少しいかなと思う。せつかくいい話をしてもらってるので。

- (委員) 移住してきて困ったことや色々な体験をされたと思うので聞かせて欲しい。
- (委員) 若い人でもお年寄りでも聞きたいと思う。
- (局側) 移住することによっていろいろ諦めないといけないこともあると思いますが、ヤンブロさんの面白いところは、音楽も一緒に持ってきて音楽も生活も宇川でやっているところが一つポイントです。
- (委員) そういう人ですって言うことを seva やんの番組に出して知らせないと。
- (委員) きっかけは大事ですね。
- (委員) 音楽をやっているというのも分かってもらった方がいいだろうし。
- (局側) 今回2回目なのでまだ自分のことをあまり出してない。
まだまだこれから小出しにされると思います。
- (委員) 舞鶴の若い男の子の時も始めに皆さんの番組に入って紹介して後で自分の番組を持ったじゃないですか。そんな感じでされるとみんなが話をききたいと引き込まれるかなと。
- (局側) スケジュールの問題がございます。本当はそうしたいのはやまやまです。
- (委員) いろんなご意見いただきましたが結論的には、もう少しメリハリのある時間に応じたお話をしていただくという事と、彼をもう少し売り出すための方策を考えてもらったらもっと視聴者に認知されて面白い番組が出来るのでは無いかなと思います。

以上、副会長の挨拶で閉会となる。

以上、意見有（抜粋）

審議機関の答申又は改善意見に対して採った措置及びその年月日

番組担当からパーソナリティに対し意見の内容を伝えた。

審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容

① 当局事務所内に掲示

② 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

その他の参考事項

特になし